

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

782

2020年11月22日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax 3806-9246  
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
Eメール: アドレス  
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・  
話題など...横山幸次区議  
のホームページをご覧ください。

## コロナ感染第3波から区民の命と暮らしを守るため PCR検査の抜本的強化とくらし応援を求める

### 区政の 課題2

	累計	前日比
11月17日	550	5
11月16日	545	2
11月15日	543	6
11月14日	537	4
11月13日	533	5
11月12日	528	3
11月11日	525	7

4月以来医療機関、介護施設、保育園、学校などで感染確認働く人と利用者全員にPCR検査を区が公費で実施する決断を  
11月18日、東京都で感染者が493人を確認、一日過去最大となりました。荒川区でも累計で500人を突破し、増加し続けています。  
また4月以来、医療機関、介護施設・事業所、保育園、学童クラブ、学校などで次々と感染が確認されていることです。幸い、クラスターになったのは一部でしたが、何時クラスターが発生してもおかしくない状況です。  
荒川区として、こうした職場の全職員のPCR検査を定期的に公費で実施すべきです。また利用者のPCR検査も同時に進めなければなりません。感染者で中高年が増加、

### 墨田区や世田谷区では独自にPCR検査拡大

いま、各地の自治体で検査体制の拡充に向けた動きがはじまっています。  
お隣墨田区は、民間の検査会社を区内に誘致しました。高齢者施設など感染リスクが高い場所での検査を強化するためです。保健所内の体制強化と組織変更、医師会や医療機関との連携、PCR検査対象の拡大など、「ニーズに合わせて供給をつくる」という立場で取り組んでいます。  
世田谷区では、いつでもどこでも、だれでもPCR検査が受けられる取り組みを進めています(下図参照)。最近、特別養護老人ホーム等の定期検査で

検査種別	対象施設・対象者	実施時期
臨時検査	感染者が発生した対象施設の職員及び利用者(濃厚接触者以外) ※小学校・中学校・新BOPの職員・職員を新たに対象に追加(11月下旬~)	11月下旬~
定期検査	介護事業所 障害者施設 一時保護所、児童養護施設等、保育園、幼稚園 ※施設内で感染者が発生したことで、これまで休所(園)となった施設のみ。	~2年1月 12月~3年1月 12月中旬 ~3年1月

事業所職員61名の検査の結果、10名の新型コロナウイルス感染症の陽性を確認しています。  
などの検査も必要です。必要の人が迅速に受けられる検査体制確立、待機など個人任せにしない支援を区として行う時です。

#### 接触歴ありの内訳(11/11)

感染経路	人数	割合
院内感染関連	28名	12.4%
施設内感染関連	27名	12.0%
家族関連	83名	36.9%
会社関連	43名	19.1%
友人関連	39名	17.3%
接待を伴う飲食店等関連	5名	2.2%
計	225名	100.0%

お困りごとなど電話、ファックス、メールなどでお気軽にご相談下さい。  
裏面 区議会11月会議関係、区立幼稚園...など

### 定例法律相談会

12月7日(月)

横山事務所18時~20時

弁護士と横山区議が相談をお受けします。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。  
生活相談は、随時受付しています。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627

### 木村病院が南千住に再来年3月(予定)移転します 地域医療体制などどうなっていくのでしょうか？

木村病院の現在地での建て替えが病院のホームページに掲載されたのが2019年3月。しかしその後、現在地での建て替えでなく南千住の都電荒川一中前・第六瑞光小そばに移転することが今年1月に発表されました。1961年以来町屋で開業していた病院だけに地域に多くの患者さんがおられます。耐震化や設備更新などの課題があるだけにやむを得ないことでもあります。移転先は、町屋からそう遠くないところですが、これまでの患者さんについて、病院側も送迎について検討するとしています。来年1月着工、2022年3月完成予定のようです。いずれにしてもコロナ禍や女子医大移転を考えても地域医療体制がどうなるのか心配です。  
横山幸次



上は現在更地の建設予定地、後ろは六瑞小、下は現在の木村病院





# コロナからくらしをいのち守る予算編成を求める

案件名	内容	審査委員会
2020年度一般会計補正予算 (第4回)	旧南千住浄水場用地の取得、指定管理コロナ影響運営費補助、介護・障害者施設等のPCR検査、コロナ診療検査医療機関支援(6億6千万円)	総務・企画
使用料等に係る督促・滞納処分などに関する条例の一部改正	国保料、介護保険料・後期高齢者医療保険料の特例基準の文言の最初に延滞金を追加	
ダンスホールを貸付た(株)アカデミーホールの明渡訴訟の提起	ホテルラングウッド地下の貸付で賃料滞り、滞納が生じ、契約解除通知を出した後も営業を継続。契約解除の無効撤回の求めに対する損害賠償請求	福祉・区民
ふれあい館の指定管理の指定	南千住駅前、西尾久、荒木田各ふれあい館の指定管理者の継続	文教・子育て
保育園(公設民営)の指定管理者の指定	南千住駅、はなみずき各保育園の指定管理者の継続	
清里高原ロッジ、少年自然の家指定管理者の変更(指定)	大幅な赤字で(株)旺栄が撤退、(株)ニッコクトラストに変更	

**区長提案の補正予算はコロナ対策がきわめて不十分です！PCR検査抜本拡大、年末年始を含めたくらしと営業の応援を**

区長選が終わって初めての区議会が予定されています。区は6億6千万円規模の補正予算を議会に提出します。しかしその内容では、コロナ感染第3波の事態に対応できません。

第一に、コロナ感染拡大から区民の命と健康をまもることが必要です。今回区が提出した補正予算では、都が予算化した介護施設などのPCR検査を一定拡大した内容が予算化されています。これは重要な前進です。しかし保育園や学校などは対象外になっています。この部分も含めた検査拡大と陽性者の保護、感染経路の追跡を行う保健所体制化なども求めています。

またひとり親世帯などへの追加給付や年末年始休みの「生活支援」窓口など緊急に設置を具

区立幼稚園の募集結果が公表されました。荒川区は、3歳児の応募者が7名以下になった場合、学級編成を行わず募集を中止することを決めていました。しかし、今回はどの園も7名以上で募集中止はありませんでした。区立幼稚園の募集結果が公表されました。荒川区は、3歳児の応募者が7名以下になった場合、学級編成を行わず募集を中止することを決めていました。しかし、今回はどの園も7名以上で募集中止はありませんでした。

## 荒川区議会 11月会議 日程(予定)

- 11月26日(木)全協・本会議
- 総務企画・文教子育て委員会 (職員ボーナス改定審査予定)
- 11月30日(月)12月1日(火)本会議【一般質問】
- 12月2日(水) 総務企画・福祉区民
- 12月3日(木) 文教子育て・建設環境
- 12月4日(金) 福祉区民
- 高齢者プラン・障害者計画の集中審議
- 12月11日(金) 全協・本会議

## 区立幼稚園の募集状況… 3歳児募集中止の園はなし

幼稚園名	年齢	募集人数	申込者数		
			男	女	計
南千住第二	3歳児	30	9	5	14
	4歳児	14	0	1	1
	5歳児	14	0	0	0
南千住第三	3歳児	35	4	6	10
	4歳児	24	2	0	2
	5歳児	23	0	0	0
町屋	3歳児	35	4	7	11
	4歳児	23	0	0	0
	5歳児	12	0	0	0
花の木	3歳児	35	9	7	16
	4歳児	18	0	0	0
	5歳児	19	0	0	0
尾久	3歳児	35	3	6	9
	4歳児	26	0	0	0
	5歳児	16	0	0	0
尾久第二	3歳児	35	5	9	14
	4歳児	22	0	1	1
	5歳児	19	0	0	0
日暮里	3歳児	35	12	12	24
	4歳児	17	0	0	0
	5歳児	15	0	0	0
東日暮里	3歳児	35	4	4	8
	4歳児	28	0	0	0
	5歳児	19	0	0	0
汐入こども園	3歳児	10	9	2	11
	4歳児	33	2	0	2
	5歳児	27	0	0	0

区立幼稚園の募集結果が公表されました。荒川区は、3歳児の応募者が7名以下になった場合、学級編成を行わず募集を中止することを決めていました。しかし、今回はどの園も7名以上で募集中止はありませんでした。

も7名以上で募集中止はありませんでした。区立幼稚園の募集結果が公表されました。荒川区は、3歳児の応募者が7名以下になった場合、学級編成を行わず募集を中止することを決めていました。しかし、今回はどの園も7名以上で募集中止はありませんでした。

立問わず、子どもたちの豊かな成長を保障する保育環境を整備していかねばなりません。

- 区立を選んだ理由
- 家から近い 78.6%
  - 園児がいきいき生活している55.7%
  - 園の印象が良い 52.9%
  - 教育内容や特色に魅力がある 41.4%



## 大学のデータ 大学就職内定率69・8% 若者に希望を届ける政治を

厚生労働省と文部科学省は17日、2021年3月卒業予定の大学生の就職内定率が10月1日時点で69・8%となり、前年の同じ時期より7・0ポイント低下したと発表しました。

新型コロナウイルスの感染拡大で厳しい就職活動を強いられ、10月時点では2015年以来5年ぶりに70%を割り込みました。



09年調査(7・4ポイント)に次ぐ過去2番目の大きさとなりました。就職氷河期の再来を許さない政治の決断が求められています。